

浜名湖は ダイダラボッチの 手の跡!?

全国各地であらゆる言い伝えが残る巨大ダイダラボッチ。湖や山などを作ったという伝説が多く、琵琶湖の土を運んで富士山を作ったという話は有名。因づくりの神であったと言われるダイダラボッチだが、実はこの浜名湖も巨人が作ったという神話が語り継がれている。

「遠州の山奥に住んでいたダイダラボッチは、気はやさしいがとんでもない大男。ある日子どもたちを手にのせて遊んでいたところ、山をまたいだ親子によって子どもたちを投げ出してしまった。その時、転んでついた手の跡に、子どもたちとダイダラボッチの涙がたまり、「浜名湖」ができたそう。

知っておきたい浜名湖伝説

なるほど、浜名湖の形状は手の形に見えなくもない。

さらには、浜名湖に浮かぶ唯一の島「磔島(つぶてじま)」から、ダイダラボッチが琵琶湖から富士山へ土を運ぶ途中にできた島。浜名湖で休憩中に食べたにぎりめしの中に小石を見つけた、捨てたのが磔島になったと伝えられている。

いにしえの時代から語り継がれてきたダイダラボッチ伝説。その多くは、現在の地形の成り立ちを巨人のしわざとして説明するものであり、昔の人々のロマンが詰まっている。あなたの住む街には、どんなダイダラボッチ伝説が残っているだろうか。



浜名湖と太平洋をつなぐ200mの切れ目「今切口」に臨む弁天島海浜公園。その目の前にそびえる、高さ18mの赤島神社弁天島のソノボシタワー。柱と柱の間に佇む美しい夕陽は、浜名湖の冬を彩る風物詩となっている。



浜名湖360度を見渡せる大バスターマ「大尊山」は、浜名湖の景勝地。



磔島(つぶてじま)

浜松市北区三ヶ日町大崎半島の約400m沖にある、浜名湖唯一の島。元和3年(1617年)に、琵琶湖の竹生島より訪禅した、市杵島姫と弁財天を祀る磯石神社がある。現在、島に上陸することはできない。

浜名湖



各ページで紹介しているスポットの場所も、チェックするのじや!

浜名湖って こんなところ

長い年月を経て作られた浜名湖は、変化に富んだユニークな構造をしている。その形状や水質は、湖でとまらない不思議な現象をもたらし、豊かな恵みを与えてくれている。そんな浜名湖の、深い魅力に触れてみよう。

1 海水と淡水が混じりあう 珍しい「汽水湖」

約500年前の大地震で太平洋とつながり、塩水が入り込んだ浜名湖は、海水と淡水が混じりあった汽水湖(きすいこ)。汽水湖は、特に稚魚の育成に欠かせない安全な自然環境であり、うなぎ、あさり、海老、牡蠣、海苔などの養殖が古くから盛んである。



2 湖?海?それとも川? 3つの顔を持つ

地理上は「湖」と呼ばれている浜名湖だが、郡田川水系郡田川(猪鼻湖は約橋川)として指定されており、河川法上では「川」。さらには、浜名湖の漁業の実態から漁業法では「海」として扱われている。

3 ぐる〜っとまわると… 3 周囲の長さは全国2位

湖の全体図を見てわかるように、浜名湖の地形は複雑に入り組んでいる。日本の湖の中では、周囲の長さが128kmとトップクラス。1位の琵琶湖に続いて2位であり、汽水湖としては1位の長さ。ちなみに、面積は70.4km²で10番目の大きさ。

4 8日間ですべての水が入れ替わる!? 4,000万トン以上もの海水が入り

今切口という幅わずか200mの水路で太平洋とつながっている浜名湖。この今切口の存在は、浜名湖内の湖の満ち引きを複雑にし、1日2回の水位の変化(潮位変動)をもたらす。今切口からは、1日あたり4,000万トンの水が入り出すと考えられている。その水量は、およそ8日間で浜名湖の水をすべて入れ替えることができる量である。

5 計791種類も! 魚介の種類は日本有数

魚類468種、エビ類97種、カニ類53種、その他甲殻類(ヤドカリ、シャコ類)24種、貝類135種、イカ、タコ類14種。合計791種類もの魚介が確認されている。今切口を通して外海から稚魚や卵が流入しやすいこと、湖内の栄養が豊富なことなどが要因となっている。

